

令和4年度卒業証書授与式を前に

3月23日（木）に令和4年度卒業証書授与式を行います。6年生にとって高学年での3年間は、コロナ禍による制約によって距離をとったり、マスクを必要としたりする不自由な生活が強いられてきました。それでも、一年生の歓迎会や運動会、委員会活動、飛騨への修学旅行と、自分たちの役割を自覚し、誰にとっても楽しい学校づくりに取り組みました。卒業生の財産は、『自分たちの生活を、自分たちの力で変えていく』ことを形で示したことです。委員会や学級活動を通して、普段の生活を見つめ、改善の方法を探りました。これまでの方法を真似るのではなく、何が必要かを考えて取り組みました。修学旅行とサツキマス研修で学んだ力は、総合的な学習の時間における山県市の魅力を発信する活動を生み出しました。主体的に参画することが、自分たちの生活や自分たちが暮らす社会をよりよく変えることができると理解した子どもたちの未来が楽しみです。

いよいよ旅立ちの時を迎えます。今年は、ご来賓と在校生も参加し、6年生の門出を祝います。富岡小を支えた6年生54名の卒業と中学校への進学を皆で祝福したいと思います。

感謝の伝達と伝統の引継ぎ

3月2日に実施した「6年生 ありがとうの会」は、卒業する6年生に「感謝」を伝えることが目的です。5年生が企画と運営を担当し、各学年が「感謝」を伝える発表を行いました。それぞれの発表から、真剣な姿と感謝の気持ちが伝わりました。富岡小学校の「伝統」を6年生から5年生へと継承し、最上級生としての仕事と責任を引き継ぎました。発表の準備や会場の設営、進行をやり遂げた5年生の本気の姿に、6年生も安心して卒業することができるでしょう。

3月9日の校外児童会では、班長の旗が引き継がれ、登校班のリーダーが交代しました。6年生が見守る中、在校生の自覚と行動が試されています。

学校保健安全委員会の開催

2月22日、新井学校医様、尾野学校歯科医様、原田学校薬剤師様をお招きし、第3回学校保健安全委員会を開催しました。学校保健安全委員会は、学校医・学校薬剤師と学校・家庭の連携により学校と家庭の保健活動を改善・向上する組織です。今年一年間の学校と家庭における保健衛生に関わる取組を報告し、評価をいただくとともに、さらに改善すべき視点をご指摘いただきました。

コロナ禍における学校の感染予防については高い評価をいただいた反面、子どもたちの体力面の低下についての課題を指摘され、今後の課題が明らかになりました。運動量の向上のための大縄大会など、子どもたちが楽しみながら体力を向上させたり、運動に親しむ機会を増やしたりしていきます。また、家庭におけるスマホやゲームの利用時間について、確実な保護者の介入が必要であることを指導されました。家庭で過ごす時間が長くなる春休みにむけて、ご家族で利用のルールを確認し、お子様が適切に利用できるようにしていきましょう。

わたしとみんなのよさ見つけ

富岡小では、学級で仲間のよさ見つけに取り組んでいます。仲間のよさに目をむけ、その相手が思っていることを想像することで、他者を慮ることのできる力を育てています。3学期には、福祉委員会の取組で、全校のみんなを対象にしたよいところ見つけを行いました。学級の壁を越えて、普段は気にしていなかった違う学年の子たちや先生のよさを見つけることができました。

視点が広がることで、周りの人のいろいろなことに気付くことができるようになりました。職員室の前には、個人が表彰された軌跡「私の自慢」が掲示してあります。最近では、他の学年のがんばっている人を探して足を止める児童も少なくありません。今年は「私の自慢」として、のべ209人の頑張りを紹介しました。学校内外で活躍している人に気付き、自分もがんばろうと励みになることも期待しています。自分のがんばったことや得意に誇りをもち、まわりの仲間のよさも認めあえる富小の自慢が広がっています。

歯ブラシの寄付をいただきました

学校歯科医の尾野歯科医院より、6年生の卒業生にワンタフトブラシ（ポイントブラシ）をご寄付いただきました。ワンタフトブラシは、歯垢が溜まりやすい歯と歯茎の境目部分にある歯周ポケットに使うことで、歯周病を予防できます。富岡小の伝統である「歯科衛生・虫歯ゼロ」を中学校でも続けてほしいと思います。